



崇城大の学生（左）と粘土で金魚の彫刻作りに挑戦する子どもたち＝長洲町

# 金魚のアート楽しい！

長洲町 崇城大生らワークショップ

長洲町の若者や崇城大芸術学部  
の学生らが、子どもたちと町特産  
の金魚をモチーフにしたアート作  
品を作るワークショップが9日、  
同町の金魚の館であり、約200  
人が粘土の彫刻やランタン作りを  
満喫した。

タンを作ったり、びよぶに描か  
れた金魚に好きな模様を描き入れ  
たりするスペースを用意。女子学  
生と粘土で金魚の彫刻を作った玉  
名市の木崎帆乃叶ちゃん(5)は  
「お姉さんと一緒に作れて楽しい  
と笑顔だった。

町と同大との包括連携協定に基  
づき、県内のデザイナーと共にア  
ートで地域を盛り上げる「海辺の  
金魚のまち長洲プロジェクト」の  
第1弾。同大の学生ら約30人が、

美術学科4年の鬼木莉歩さん  
(21)は「アートには人を元気にす  
る力があることを再認識できた」  
と話した。

専門的な技法などを助言した。

ワークショップは17、23日、10月  
29日も開催。作品は、熊本市の崇城

会場には、プロや学生がデザイ  
ンした金魚の缶バッジや紙製ラン

大学ギャラリーと、同館で開かれ  
る展覧会で展示する。(原大祐)